

令和7年12月8日付【水道産業新聞】

＜持続可能な上下水道へ予算確保を＞

国交省に3項目を提案

持続可能な上下水道へ予算確保を

水コン協 国交省に3項目を提案



石井審議官に提案書を渡す
中西会長⑤

全国上下水道コンサル 上下水道事業予算の確保
タント協会は2日、国土 課題解決に向けた施
交通省に対し、来年度の 策・支援の推進に関する
提案書を提出

水道事業の持続に積極的
に貢献していくという思
いを新たに、長期ビジョ
ンを策定した。担い手の
確保や技術の継承の課題
に対しては、業界の魅力
やコンサルタントの職業
を広く認知してもらう活
動に取り組むとともに、
ベースとなる事業費、事
業費の確保に、国の支援
をいたきたい。今日の
貴重な機会に怠慢のない
ご意見をいたきたい」と
とあいさつした。

石井宏幸・国交省上下
水道審議官は、「1月の
八潮市に始まり、相次ぐ
災害や事故を受けて、上
下水道の安全・安心に対
する国民の関心や懸念が
高まっている。この関心
の高まりを一過性のもの
にしてはならず、懸念を
払拭するためにも、地方
公共団体に対し、国が財
政面でしっかりと支援して
いく必要がある。大切な
ことは、自分の身にいつ
災難が降りかかるかもし
れないという恐れを抱く
ことで、自分ごと化」さ
れた上下水道の老朽化の
リアルな実態をできるだ
け「見える化」すること
であり、それがひいては

関心の持続や人材の確
保、予算の確保にもつな
がると考える」と述べた。
提案項目は、①上下水
道事業の持続に向けた事
業執行予算の確保②激甚
化する災害に対する強い
上下水道の構築と推進③
新時代の上下水道一体と
なった取り組みの推進
④では、多くの自治体
が、人材不足や施設の老
朽化、財源不足などの深
刻な課題に直面している
状況を鑑み、上下水道施
設・管路の積極的な更新・
維持管理に向けて十分な
予算の確保を求めた。

大を踏まえ、災害による
大規模で長期的な被害を
最小限に抑えるため、上
下水システムとしての
耐震対策や、流域全体を
一つのシステムとして捉
えた流域総合水管理を実
現するため、積極的な支
援を求めた。
③では、ウォーターP
Pをはじめとする多様
な形態による官民連携の
導入と、業務の効率化や
付加価値の高い上下水道
サービスの実現を支える
DXやIoT、革新的技
術の開発推進、省・創・再
エネルギー化や脱炭素化
の実現とカーボンニュ
ーラルの達成に向けた積
極的な支援を求めた。